

機構防万

シンポジウム開催 ロスプリベンション教育等



竹花理事長

NPO法人全国万引犯罪防止機構(竹花豊理事長)は8日、東京ビッグサイト会議棟6階でシンポジウム『収益2倍へ!ロスプリベンション教育と盗難情報共有実現に向けて』を開催した。

シンポジウムに先立って竹花理事長が『万引対策強化宣言の推進』をテーマに基調講演を行った。

登壇した竹花理事長

は昨年行われた「万引対策強化国際会議2017」に参加し、新たな発想で対処すれば、現状を打破できると確信のもと宣言した「万引対策強化宣言」について触れ、進捗状況や課題を話した。

万引対策強化宣言は

1・小売業者の万引対応力強化Ⅱ万引問題に苦しむ小売業が、孤立せずに、多くの関係者とともに万引対策に

取り組めるように、小売業関係団体・全国万引犯罪防止機構等は、小売業者との連携をこれまで以上に強め、これをサポートする。また、小売業者は、万引被害減少を重要な経営課題ととらえ、ロス管理の徹底と万引実態の把握、有効な防犯機器の導入等により万引しにくい環境づくりを進める。そのため、万引対策担当の専門部署を設置するなど、社を挙げた取り組みを強化する。

2・被害情報及び犯人情報の共有・活用Ⅱ

関係小売業者、団体等が不断に情報交換を行うとともに、防犯カメラ画像の相互利用を含む

め、この有効、適切な利用拡大に努める。特に顔認証システムを活用した新たな万引情報共有・活用システムを早急に構築するように、関係団体、全国万引犯罪防止機構等が本格的な準備を開始する。これらの方策で得られた、組織的、常習的その他の重要万引事犯の万引情報については、全国万引防止機構等を活用しつつ、警察等との連携による検挙・抑止を一層推進する。

3・地域別、業態別等の万引対策会議の定期的な実施Ⅱ小売業者、警察、地域社会等が参加して、万引情報の交換を定期的に行う

ことにより、多数の関係者が力を合わせ、社会全体の万引防止の機運を高め、万引の抑止強化につなげる。

4・万引した商品の転売防止対策の強化Ⅱ

警察を中心に、国内の盗品処分先やルートを解明し、換金目的の万引抑止を図る。インターネットオークション、フリマアプリ、宅配便などの関係事業者の協力を得るなどしてこれらが処分ルートとして利用されない仕組みづくりを進める。

5・再犯防止教育の充実等Ⅱ少年、初心者等、万引犯人のうち刑事責任を負わない者や負わせることが困難な者に対する再犯防止教育を段階に充実するとともに、高齢者による万引防止の新たな取組を早急に開始する。

6・万引犯に対する民事責任の追求Ⅱ被害者サイドから損害賠償請求等金員の支払いを要求する取り組みを拡充し、またこれを容易にする仕組みづくりを進める。

シンポジウムはコーディネーターに竹花理事長、サブコーディネーターは菊間千乃広報委員長がつとめた。パネリストは経済産業省消費・流通政策課の林揚哲課長、㈱ユニクロ計画管理部の佐藤誠氏、万防機構理事・日本チェーンドラッグストア協会防犯有事委員長石田岳彦氏、万防機構理事・万防機構理事・万防機構LP教育制度作成委員長の近江元氏(一社)ロスプリベンション協会の秋元初心代表理事、万防機構万引防止出版対策本部の阿部信行事務局長等が登壇した。